

屋外トイレ(男女共用トイレ)

■最小スペースの多目的トイレプラン

車いす使用者でも利用可能な最小限の多目的トイレを2つ設置したプランです。ベビーカーを引いた乳幼児連れの方にとっても安心して使えるトイレです。2つのトイレは“左右勝手別”に設置し、異性の介助者を伴った利用にも配慮して男女共用とします。

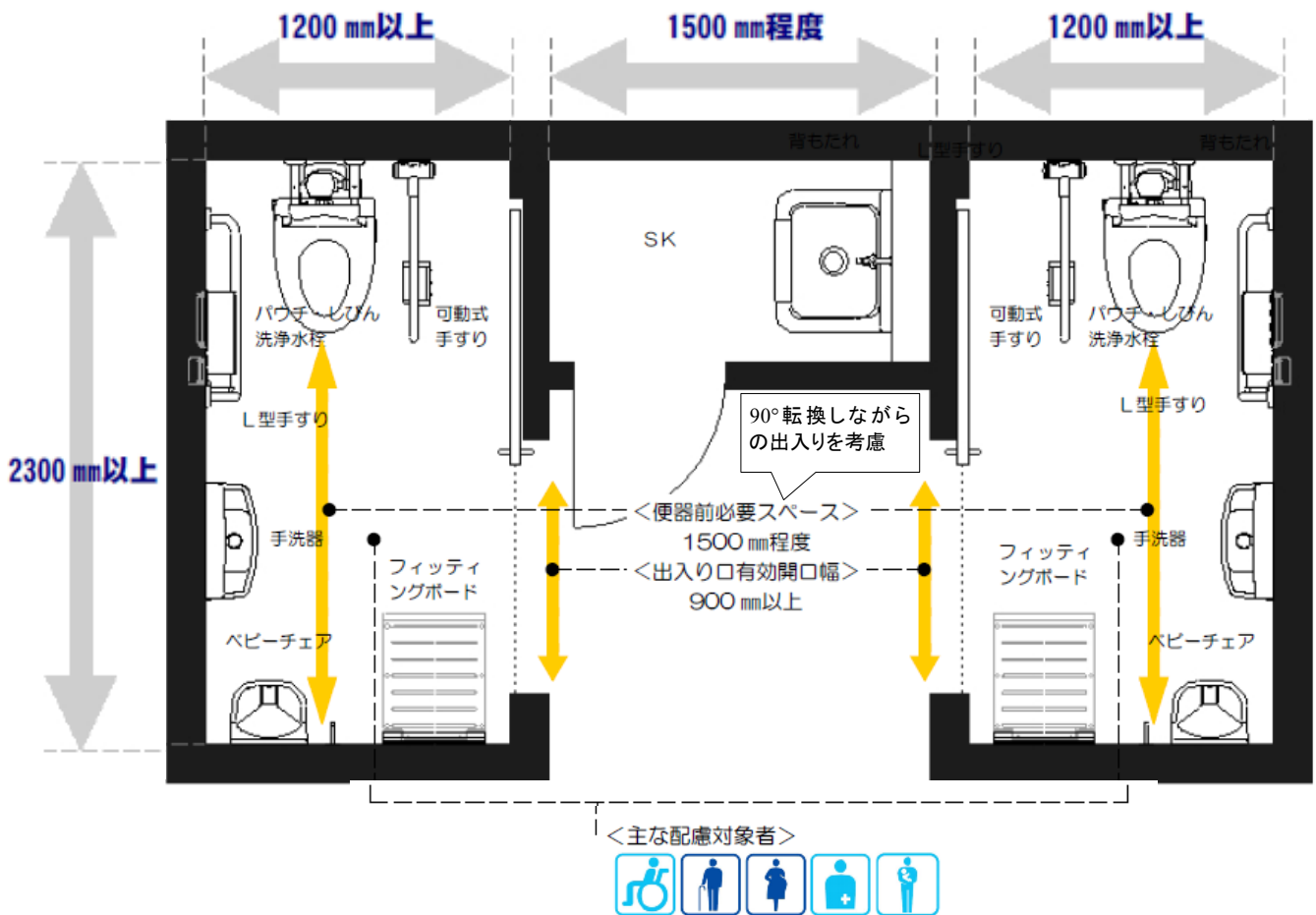
《ポイント》

限られたスペースであっても、車いす使用者がトイレに入り、施錠し、用を足し、後進でも退出できるだけのスペースと出入口幅を確保したトイレです。

車いすの方向転換のためのスペースは、トイレ内で取ることが不可能な場合はトイレの外の通路で確保することが必要です。これだけのスペースを確保すれば、同時にベビーカーも持ち込みやすくなります。

また、このプランにベビーシートを設置すればより乳幼児連れの方にやさしいトイレとなります。

【配慮する部分】 ①手すり・背もたれ ②壁面配置 ③オストメイト対応設備 ④洗面器コーナー ⑤棚・フック ⑥ベビーシート・ベビーカーチェア
⑦フィッティングボード ⑧出入口 ⑨出入口 ⑩その他



※主な配慮対象者について、下図のように表示しています。

（表示マークの色について）

紺色: ほとんどの方が使えるように配慮しています。 水色: 使えるように配慮していますが、状況により使いにくい場合もあります。



車いす使用者



高齢者および
つえ使用者



妊産婦



オストメイト
(人工肛門・人工ぼうこう保有者)



大型ベッド
使用者



乳幼児連れ



子ども

※「福祉型トイレ」は施設の規模、用途、利用者意識などに配慮して整備することが重要であり、利用実態にあわせてプランの検討をお願いします。なお、この参考プランは小規模施設を想定しています。そのため、2000m²以上の施設とは基準（福岡県福祉のまちづくり条例）が異なっていますのでご注意ください。

また、福祉型トイレの基準について福岡県ホームページに「福岡県福祉のまちづくり条例Q&A(建築物編)」に掲載していますのでご確認ください。